

モーツァルト作曲 「魔笛」

チラシデザイン募集

1枚のチラシを見て、その公演に無性に行きたくさせるデザインを公募

この魔法の笛と鈴さえあれば！ 猛火をくぐり、濁流を渡り、二組の男女は数々の試練を克服し、とうとう一緒になれた！ 目出度し目出度し！ かくしてこの何時とも何処とも解らない国での、ザラストロ率いる男性一派と夜の女王の女性一派の抗争は、男女あい和して平和を得、終止符を打ちました。

岡村喬生が創る、ハラハラ、ドキドキの、愛の冒険物語

ザラストロ派は鮮やかなえんじ、夜の女王派は黒と、対照的に色分けされた両派の衣裳。そして、四枚のパネルで創られる舞台はその表裏が同じくえんじと黒で仕分けされ、両派の抗争を解り易く表現します。原語（ドイツ語）で歌われる内容もレチタティーヴォは岡村のナレーションで全部が訳され、出演者が芝居を行います。こうしてモーツァルトの傑作オペラ「魔笛」は予備知識なしで誰にでもわかるオペラへと生まれ変わりました。

応募規定：縦A4サイズ・紙の指定なし・4色まで。（2点以内）

作品の裏面に 〒住所・TEL・氏名（フリガナ）・年齢を明記。

応募資格：一切の制限なし。

賞：大賞1点＝賞金5万円

副賞として魔笛公演チケット2枚と公演プログラムへの写真・プロフィール掲載。

佳作2点＝魔笛公演チケット2枚・公演プログラムに名前を掲載

諸権利：1)デザインはポスターとチラシ、プログラム等オペラ公演に関わる印刷物に使用されます。

2)入賞作品の著作権はNPOみんなのオペラに帰属します。

参考：応募作の返却は致しませんのでご了承下さい。また、印刷時の特色指定は不可となります。

締め切り：2005年3月31日（必着）

入賞発表・表彰：入賞者には4月10日電話にて通知。また、ホームページにて結果を発表。

= 該当者がいない場合もあります =

表彰は魔笛出演者発表と同日時（2005年4月11日19：00～）に行います。

発表会場：江東区・ティアラこうとう中会議室

申し込み・送付・問い合わせ先：TEL・FAX 048-837-7056

〒336-0033 埼玉県さいたま市南区曲本5-7-23-403

NPOみんなのオペラ事務局 安田裕子

Eメール：NPO@minna-no-opera.com ホームページ：http://www.minna-no-opera.com

## モーツァルト作曲 歌劇「魔笛」について

初演 1791年9月30日、アウフ・デア・ヴィーデン劇場（ウィーン）

登場人物 ザラストロ（バス）

タミーノ（テノール）

夜の女王（ソプラノ）

パミーナ（ソプラノ）

パパゲーノ（バリトン）

パパゲーナ（ソプラノ）

モノスタス（テノール）

弁者（バス）

夜の女王の三人の侍女（ソプラノ、ソプラノ、アルト）

原作のあらすじ

第1幕

第1場 森の岩山

王子タミーノは、大蛇に追われて逃げるうち気を失う。そこに夜の女王の侍女たちが現れ、大蛇を退治して、倒れているタミーノの美しさに見惚れる。

侍女たちが夜の女王のもとへと報告に向かうと、入れ替わりに鳥刺しのパパゲーノが現れた。

パパゲーノは息を吹き返したタミーノに、大蛇は自分が倒したのだとほらを吹く。ちょうどそこに戻ってきた侍女たちがこれを聞きとがめ、嘘をついたパパゲーノの口に錠前をはめてしまう。そして、タミーノに夜の女王の娘パミーナの肖像を見せ、パミーナは今、ザラストロという名の悪魔に捕らえられていると教える。

タミーノは美しいパミーナの姿に心を奪われ、パミーナを救い出す旅に出ることにする。すると雷鳴とともに夜の女王が現れ、パミーナを救ってくれるよう切々と訴える。タミーノはパパゲーノを伴に連れて行くことにし、口の錠前をはずさせる。侍女たちは、タミーノに魔笛を、パパゲーノには不思議な力を持つ銀の鈴を手渡す。

第2場 ザラストロ城

ザラストロの城では、黒人のモノスタスが、パミーナの貞節を狙っている。今日もパミーナを脅し、恐怖のあまり気絶したところを狙ったが、そこに突然パパゲーノが現れて鉢合わせ。二人は互いの異様ないでたちに、それぞれ悪魔と出会ったと思い、驚いて逃げ出す。姫と出会ったパパゲーノは、肖像画を見比べて、彼女がパミーナであることを確認し、間もなくタミーノが助けに来ると、元気づける。

第3場 3つの神殿がある森

神殿が並ぶ神聖な森のなか、三人の天使に導かれたタミーノが神殿の扉を叩く。

3番目の扉を叩くと弁者が現れ、お前は何を求めているのか、と訊ねる。タミーノが、悪魔ザラストロの手から、パミーナを救いに来たのだと答えると、弁者は、悪者は夜の女王のほうで、ザラストロは善なのだ、と意外な答えをする。タミーノが、それではパミーナはまだ犠牲に供されていないのか、と訊ねると、弁者は何も答えず姿を消す。パミーナの安否を問うタミーノの叫びに、どこからともなく、パミーナは無事だという声が返ってくる。タミーノが魔笛を吹くと、遠くからパパゲーノの鈴の音が聞こえてくる。

モノスタスは追手をかけるが、銀の鈴の音を聞かされたため浮かれて踊りだす。そこにザラストロが現われるので、パミーナは、自分を母の元に帰してくれるようお願い出る。だが、ザラストロは夜の女王を非難し、それには応えられないと拒否する。

そこに、モノスタスに捕らえられたタミーノが姿を現わす。彼とパミーナは、一目見るなり、互いが運命の人であることを確信し、固く抱き合う。モノスタスが怒ってタミーノを告発するが、ザラストロは逆にモノスタスを罰する。そして、恋に落ちた二人を引き離し、各々が別の試練をくぐり抜けねばならないことを告げる。

## 第2幕

### 第1場 ピラミッドの見える森

椰子の茂みのなか、ザラストロは皆に向かって、タミーノはいったん夜の女王に懐柔されかけたが、これからは正しい道に導くので力を貸して欲しいと要請する。司祭たちは、タミーノが試練を乗り越えたあかつきには、パミーナを妻として与えようと思い、彼女をこの地に捕らえておいたのだ、と打ち明ける。

### 第2場 神殿の庭

タミーノとパパゲーノのもとに弁者が現れ、何のためにここへ来たのかと問う。タミーノは、パミーナを得るために、愛と徳を持って試練に臨む、と覚悟を明らかにする。弁者はパパゲーノにも、試練を乗り越えればパパゲーナが手に入ると教える。するとそこに夜の女王の侍女たちが現れ、タミーノにあの手この手で心変わりを迫る。それでもタミーノが黙っていると、雷鳴とともに侍女たちは消え去り、第一の関門を突破したことが告げられる。

### 第3場 庭園

美しい庭園の東屋に眠るパミーナのもとに、夜の女王が現れる。夫の死後、ザラストロに従うよう遺言されたが、自分は彼とは共存できない。この剣で権力の座を奪われた母の復讐を遂げよ、と言って娘のパミーナに剣を手渡す。

だが、ザラストロは、人間には復讐より愛が大切なのだとパミーナに説く。

### 第4場 大広間

タミーノとパパゲーノは、無言の業に入る。それを知らないパミーナは、口を開かないタミーノに絶望して立ち去る。

### 第5場 神殿の地下室

僧侶たちが神々に祈りを捧げている。

第1の試練に合格したタミーノはパパゲーノとは別々に新たな試練へと向かう。

パパゲーノは、弁者が与えた葡萄酒を飲み陽気になる。

すると老婆が現れ愛を迫ってくるため、仕方なくパパゲーノは老婆に愛を誓う。すると、その老婆は若く美しいパパゲーナに変身する。

### 第6場 庭園

嘆くパミーナのもとに天使らが現れて、タミーノのいる試練の場へと誘う。

#### 第7場 滝と火山のある山奥

タミーノが、さらに厳しい水火の試練に立ち向かう決意をすると、追ってきたパミーナも、ともに試練を受けることを許される。パミーナがタミーノに魔笛を吹くように願ったので、二人はその魔力で無事に水と火をくぐり抜けることができた。

#### 第8場 庭園

パパゲーノはパパゲーナを失って悲しみのあまり自殺しようとする。そこに天使らが現れてパパゲーノに銀の鈴を鳴らしなさいと教える。

パパゲーノが鈴を鳴らすとパパゲーナが現れる。

夜の女王は、最後の復讐を試みるが、果たせず、世界は一転して太陽の世界になる。ザラストロは王子タミーノとパミーナを祝福する。